

知っていますか？「かせどり」って！

私には、懐かしい楽しかった小さい頃の思い出がいっぱいあります。

山でのチャンバラごっこ、木に登っての山桃ちぎり・椎の実ちぎり。今では高いところは苦手ですが、あの頃は怖さを感じてなかったように思います。

凧とか水鉄砲、竹馬も近所の兄ちゃんや爺ちゃんに教えてもらって作っていたし、夏休みには魚釣り、海での泳ぎ(久玉駐在所から下は砂浜だった)も日課でした。

そして「かせどり」。そんなの知らないと言われる人がほとんどと思いますが、上揚区、1月の風習としてありました。

1月14日、区の子供達(男の子)10人程が集まり、ダイコンを輪切りにして松の枝を挿し、2匹の折鶴を掲げたら完了。

どこかの家を拠点として暗くなった頃を見計らって活動開始。ふたり一組となり、昼間作った「かせどり」をお盆に載せ、目当ての玄関前に置き柏手を2回打ち物陰に隠れます。

その家の人にはそれを受け取り、お返しに餅5個ほど盆にのせ玄関前に置いてくれます。問題はその後で、餅を取りに来た時に水をかけていいことになっているのです。かけられないように様子を見ながらそおっと手に取ったら、走って逃げます。

幸い私はかけられたことはありませんでしたが、水を浴びた友達もいたようでそんなスリルがあったから面白かったのでしょう。

近所中廻ったら餅は100個を超え、その頃のほとんど家には囲炉裏があったので、みんなで餅を焼いて食べたら私が13個で一番食べたのを覚えています。

「かせどり」にどんな意味があるのか子供の頃は考えたこともありませんでしたが、今思うと松も鶴も縁起ものとされていることから「幸福、或いは幸運を運んでくれる使い」としての位置づけだったのではないかと思います。その裏付けに受け取った「かせどり」はどここの家でも床の間に大事に飾られていました。

上揚区 江良春隆



久振だより

人口2487人
1339世帯
-第178号-
発行
久玉地区振興会
発行日
令和5年3月1日



くたま市民学級のご案内

3月8日(水) 午前10時～

「旧石器とその周辺」

内の原遺跡より発見された旧石器時代の遺物を中心として天草の考古の様相を知る講座です。

場所:久玉地区コミュニティセンター

講師:牛深歴史文化継承の会 事務局長 山下義満さん

今年度最後の講座です！みなさまのご参加をお待ちしています。

上揚区の平穏無事を願って！



1月29日(日)上揚区の初祓いが執り行われました。

初祓いは、地区の平穏無事を願ってお祓いをしてもらう神事です。

区民 20 名程が見守る前で牛深八幡宮 田代神主から「上揚区をあらゆる災害から守ってください。農作物が実り多い年となりますように。交通事故が起きませんように。あらゆる禍(わざわい)から守ってください。」と祈願をして戴きました。

今年もコロナ禍のため、神事後の直会はできませんでした。

区民の融和と結束を深めるためにも、直会には大きな意味がありますが今の状況では仕方ありません。

来年こそはコロナ禍が終息して直会が出来ますようにと心で祈って初祓いは終了しました。



～久振だより掲載記事のお願い！～

久玉地区振興会では毎月「久振だより」を発行していますが、その趣旨は各地区での出来事を発信してそれぞれの地区のことを少しでも身近に感じてもらいたいとの思いからです。現状は掲載記事に偏りがあるように思います。

できれば年 1 回は久玉全地区の出来事を掲載したい。

そしてその記事は各地区で書いていただき写真もお願いしたいと思っています。

それが無理な場合は振興会へご一報いただければ出来るだけこちらから出向きます。

また、熊日新聞の読者の欄にあるような記事でも結構ですので気軽にご投稿下さいますようお願いいたします。

